

全国漁業信用基金協会 宮崎支所理事 森井敏明

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様には、日ごろから温かいご支援、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、ご承知のとおり、将来的にわたって漁業者のセーフティーネットとしての役割を十分担っていける組織造りとして、平成29年4月に全国19の協会が合併し全国漁業信用協会を立ち上げたところでありますが、さらに18の協会が第2次合併として全国漁業信用協会へ参加することが承認決定され、本年4月には全国37都道府県の協会が一つになることになりました。これにより保証残高1,657億円、基金合計509億円の協会が誕生することになり、浜の中小漁業者等の皆様方へ今まで以上のサービスができるようになるかと確信しております。

また、昨年全漁連、農林中央金庫、全国漁業信用協会、農林漁業信用基金、漁業信用基金中央会の5者による協議会を立ち上げ、国の政策と歩調を合わせつつ円滑に資金の供給ができるよう融資と保証・保険の一体的取り組みに向けた検討が始まりました。

これらの取り組みにより、漁業の成長産業化を図るための融資・保証のインフラを整備し、金融の側面から将来の浜を担う漁業経営体を育成していく方針を確立させていくこととしております。

一方当支所におきましては、昨年7月に開催した運営委員会において承認を得ました保証推進計画に沿って、保証引受体制の整備につとめ保証引受拡大に向けて関係機関と協議を進めてまいりたいと考えておりますので、今後とも会員の皆様をはじめ関係団体の皆様にはご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、新しい年が、皆様にとりまして希望に満ちた明るい年になりますように、心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

